



森ボラ 通信

第166号 2016年3月20日発行

NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <http://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目9-6 ラルズビル3F

Tel. (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrin2002@nifty.com

トピックス

◆平成27年度森づくり活動発表会で森林ボランティア協会活動体験発表

2月25日石狩地域森林ふれあい推進センターの主催により定山溪中学校で森林保全等の活動報告会で当協会は昨年3月からスタートしました澄川南小学校との取り組み「子供たちと遊び・学び・ボランティアをしよう」をテーマとして大窪健一さんが発表しました。一年を通して子供たちと一緒にやって来た自然体験学習の成果は会場の中学生や石狩管理局の方、地元定山溪の皆さん方77名に環境学習の素晴らしさを感じて貰えたと思います。又中学生全員(16名)が小学校5年生から継続的に取り組んでいる理科や社会のフィールドワークの発表は野外体験学習に留まらず立派な研究成果として引き継がれていました。(文・事務局)



◆「斉藤りんご園」支援終了

斉藤りんご園は札幌市の中心地に近い三角山山麓に位置し、度々マスコミに取り上げられる知る人ぞ知る銘園であります。斉藤ご夫妻の高齢化により廃園の危機が迫っていました。



2004年、当協会は廃園阻止と緑地保存の意義から支援を開始、ご夫妻も2004年9月の台風18号の風害、2010年10月の雪害などにも負けず頑張ってきたが、寄る年には勝てず、2012年から規模を縮小し札幌緑花会花園学院に約半分を貸出、更に今年は同学院に8~9割を貸出、残りりんごの木は約20本、それに梅、サクランボウ、ナシ、水密、プルンなどと大幅に縮小されました。12年間に亘って支援をしてきましたが、協会としては初期の目的をほぼ達成することが出来たので、これをもって

年間を通しての支援を終了させていただきます。

年度	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	計
回数	34	27	35	48	45	55	51	37	32	40	34	43	481
参加人員	449	207	312	538	367	283	309	232	186	207	214	200	3,504

この間、動員は延べ481回、3,504人にと、大きな事故もなく支援させていただきました。ご協力いただきました協会員の皆さん、また活動の場所を提供していただきました斉藤ご夫妻、並びに個人的にご支援いただきました鈴木さんのご主人、大島さん、津村さん、早岡さん有難うございま

した。なお、今後発生すると思われる古木処理などは個別に対応させていただきますので、引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。 永年、有難うございました！ (文・和田)

■ 活動報告

◆市立澄川南小学校児童のカンジキ作り体験

昨年に引き続き今年も澄川南小2階の大講堂で4年生とカンジキ作りをしました。材料は昨年夏の整理伐で出てきたコクワで整形乾燥させたものです。

まずは2月8日澄川で大窪さん主導で準備をし昼から参加会員全員で紐のかけ方を練習しました。そして2月12日4台の車に分乗して学校に向かい校長室では千葉教頭から今後はますます環境林での活動を多くしたいので協力をと依頼されました。私たちも慣れてきたのと準備がよかったためカンジキ作りは10:40から12:15の総合的な学習の時間にぴったり終わることができました。

自然のものの扱い方、ノコギリの使い方、知恵の輪のような紐のかけ方、そしてなによりおじいちゃんたちとの協働作業は子供たちの記憶に残った事と思います。

石川先生には森しり隊員募集をお願いしました。(文・酒井)



◆澄川南小学校3年生自然観察会

2月2日(火)3年生48名が澄川環境林で昨年選んだマイツリーのある樹木園で観察会を行いました。全員が新しいスノーシューで雪を蹴散らして歩く姿はさすが北国の子、元気一杯でした。



真っ白な雪原に落ちているシラカンバやミズナラ、イヤタカエデの枝、葉っぱ、種を見つけては拾い集め楽しんでいました。樹木園では雪の中に埋まったマイツリーと樹名板は見る高さが違い観察の目が光っていました。帰りは雪原を歩いた動物たちの足跡を見ながらこれは何、キツ

ネだ、タヌキだ、ウサギだ、リスだと配った観察ファイルと照らし合わせ何種類もの動物が生息している森だと実感して呉れたと思います。

やはり学校で机に向かうよりも外でやる学習の方が楽しんだ様であつという間の2時間でしたが、結構疲れた様子の中にもこれから待っている給食を楽しみに森を後にしました。(文・事務局)



◆「わたしたちのくらしと生物多様性」

2016年2月のセミナーは、札幌市環境局で環境共生推進を担当されている米森課長さんに講師をお願いして「わたしたちのくらしと生物多様性」というタイトルでお話して頂きました。分かっている様でありながら実際何をしたら良いのか？ 今一つ分かり難いのが“生物多様性”です。講師からは、まずクイズが投げかけられました。札幌市の鳥は何？ 木は何？ 花は何？ 皆さんは即

座に答えられますか！ この日参加された皆さんは多くの方が正解を答えていました（正解は下の写真をご覧ください。因みにこれらは昭和35年に市民の投票により決められたとのこと）。



次に「生物多様性」とは、地球上には様々な生き物がいて、それらが互いにつながりをもっていることを指しており、①生態系の多様性、②種の多様性、③遺伝子の多様性の3つの多様性に分けられる。私たち人間もそれら“生き物どうしのつながり”の中で生きていることを認識することがまず大事であり、人間が生きていくことができる基盤であり、豊かな文化の根源であり、また生活の安全をも支える生物多様性の恵みを受けていることを理解することが必要です。それではなぜ今日国際的に『生物多様性』

について国際条約をつくり多くの国々が活動を進めているのか？ そこには地球上の生物多様性が危機的な状況になりつつあることが分かってきたからです。1900～1975年には1年に絶滅した種は1種でしたが、1975年には1,000種、1975～2000年には40,000種と急速に増えているからです。この絶滅の主な原因は人間活動によるところが大きいと言われています。



札幌の花・木・鳥(札幌市のHPより)

日本も2010年に名古屋市で開催されたCOP10（生物多様性条約第10回締約国会議）に基づき法整備が進められ動き出しています。札幌市も一自治体として、市民への生物多様性の理解の浸透を進め、札幌の自然の保全を進める活動を行っており、生物多様性に配慮したライフスタイルの実現のため、“今できることから始めよう”とその実践ハンドブックの作製・配布等やイベントを実施されているとのこと。私たち一人一人も日々の生活の中で出来ることから始めようではありませんか。地球はもう待てない状況になっているのです。（文・荻田）

◆ 澄川南小4年生の自然観察会を実施

～4年生はかんじき体験と間伐の現場を観る

冬晴れの2月22日に、森ボラの指導で澄川南小学校4年生の自然観察会が澄川環境林で行われました。昨年の6月に夏の森を歩いて以来、今回が2回目です。また、今回は2月12日に森ボラと一緒に作ったカンジキを実際に雪上で履いてみる体験も兼ねていました。

朝、10時少し前に豊平清掃事務所脇で47名の子どもたちと先生3名を迎え、そこから環境林に入ってスノーシューを履き、小屋前広場を通過してE2地区の間伐作業現場に到着。そこで酒井さんから、なぜ間伐をするのか、どんな木を伐るのかを説明し、矢澤さんがミズナラの大木1本をチェーンソーで伐り倒すデモンストレーションをしました。大木が雪煙を上げて倒れる瞬間には、子どもたちからは歓声と溜息が洩れ聞こえました。更に酒井さんからは、カンジキ作りの時に質問された年輪のことを木片を使って説明しました。その後、子どもたちは、自分たちが作ったカンジキを履いてみたり、尾根に向かって元気に駆け上がったり、夏場に四阿付近で見つけたオオアカゲラの巣穴を観察したりして30分ほど楽しく過ごしました。「カンジキはスノーシューより軽くて良い」などの感想も聞きました。



帰りはまた森を歩いて、清掃事務所脇に出たのは12時を過ぎていました。やはりE2地区までの往復は子どもたちも少し閉口した様子でした。（文・清澤）

■ 今月の幹事会

出席者：大窪・荻田・樫棒・加藤・清澤・酒井・佐野・高野・釣井・西野(暢)・矢澤・和田

1. 2016年4月、5月スケジュール・・・幹事会 4月8日(金) 臨時幹事会 4月22日(金)
2. 親子森林教室2016年4月に向けて・・・親子7組 子供隊員は10名
3. 森林・山林多面的発揮機能対策進行状況・・・2016年度の活動計画は承認されました
4. 2016年度活動スケジュールの提示・・・幹事会で了承されました
5. 15周年記念誌発刊に当たって・・・創立11年以降の記録をまとめる作業
6. 委員会報告 広報委員会・・・“土・日ボランティアしませんか”HP掲載は4月
助成委員会・・・2016年緑推ローソン緑の募金に申請(第6期)
研修旅行・・・行先を次回の幹事会で報告(西野)
冬期セミナーの件・・・活動履歴に報告
7. その他
 - ・ 森が海の恋人植樹祭参加状況・・・締め切り3月10日まで
 - ・ 森と緑 書籍購入の件・・・「樹木の名前を知る図鑑」2冊購入(事務所と澄川に保管)
 - ・ 札幌市版レッドリストパンフレットの活動団体取組事例に協会の活動が紹介されました。
 - ・ 2016年度総会5月9日(月)15:30から16:30 L-プラザ環境研修室1,2
 - ・ 2月会計報告

★ 新入会員紹介：西俊一さん、弘子さん ご夫婦で入会 お二人の趣味は自然散策

★北海道森林ボランティア協会2016年度年会費をご請求させていただきます★
郵便局払込表票にてご納入宜しくお願いします

■ 活動履歴

月日	行事・活動地	参加数	活動内容
2月16日(火)	澄川	12	D-1, 2, 3 標準木選定 (48本)
2月17日(水)	エルプラザ・セミナー	22	札幌市環境局米森宏子氏「私たちの暮らしと生物多様性」 会員例会：樫棒会員 「森ボラ協議会の活動報告」
2月18日(木)	かでの2・7	5	多面活動事例報告会
2月19日(金)	澄川	10	E-2チェーンソーで整理伐 (39本)
2月22日(月)	澄川	18	澄南小4年生自作のカンジキを履いて林内散策
2月25日(木)	定山溪中学	8	森づくり活動発表会
2月26日(金)	澄川	15	トレッキングクラブ4名活動に参加
3月2日(水)	澄川	13	E-2 整理伐・標準木調査D-4, 5 終了
3月4日(金)	ラルズビル	12	定例幹事会
3月7日(月)	紅桜公園	13	澄南小2年生作った野外カンジキを履いて冬芽観察
3月9日(水)	エルプラザ・セミナー	20	(株)ドーコン 川北 稔氏・札幌近郊の地形と地質 会員例会：清澤会員 ・「森しり隊スタートにあたって」・「救急救命の流れ」
3月11日(金)	澄川	14	E-2 整理伐・D地区標準木調査
3月14日(月)	澄川	18	E-2 整理伐・新会員西夫婦活動開始
3月16日(水)	澄川	14	E-2 地区整理伐終了・森しり隊名札、テーブル作成準備